

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成31年1月31日(2019.1.31)

【公開番号】特開2017-8327(P2017-8327A)

【公開日】平成29年1月12日(2017.1.12)

【年通号数】公開・登録公報2017-002

【出願番号】特願2016-160868(P2016-160868)

【国際特許分類】

C 09 J 133/04 (2006.01)

C 09 J 133/14 (2006.01)

C 09 J 133/02 (2006.01)

C 09 J 7/20 (2018.01)

【F I】

C 09 J 133/04

C 09 J 133/14

C 09 J 133/02

C 09 J 7/02 Z

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月11日(2018.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

(メタ)アクリル共重合体と架橋剤とを含む架橋性組成物の架橋を進行させた(メタ)アクリル材料を含み、
粘着付与樹脂を含み、

前記(メタ)アクリル共重合体は、(メタ)アクリル酸エステルモノマー、(メタ)アクリル酸モノマー及び水酸基含有モノマーを含有する混合モノマーの共重合体であり、

前記混合モノマーにおいて、前記(メタ)アクリル酸エステルモノマー及び(メタ)アクリル酸モノマーの総量100重量部に対する前記水酸基含有モノマーの含有量が、0.1重量部以上、0.3重量部以下であり、

前記(メタ)アクリル材料100重量部に対する前記粘着付与樹脂の含有量が、30重量部以上であり、

ゲル分率が、53重量%以上である、(メタ)アクリル系粘着剤。

【請求項2】

周波数10Hz、かつ温度80におけるせん断貯蔵弾性率が、 5.0×10^4 Pa以上である、請求項1に記載の(メタ)アクリル系粘着剤。

【請求項3】

前記水酸基含有モノマーが、(メタ)アクリル酸ヒドロキシアルキルである、請求項1又は2に記載の(メタ)アクリル系粘着剤。

【請求項4】

(メタ)アクリル共重合体と架橋剤とを含む架橋性組成物の架橋を進行させた(メタ)アクリル材料を含み、

前記(メタ)アクリル共重合体は、(メタ)アクリル酸エステルモノマー、(メタ)アクリル酸モノマー及び水酸基含有モノマーを含有する混合モノマーの共重合体であり、

前記混合モノマーにおいて、前記(メタ)アクリル酸エステルモノマー及び(メタ)アクリル酸モノマーの総量100重量部に対する前記水酸基含有モノマーの含有量が、0.1重量部以上、0.3重量部以下であり、

ゲル分率が、53重量%以上であり、

周波数10Hz、かつ温度80℃におけるせん断貯蔵弾性率が、 5.0×10^4 Pa以上である、(メタ)アクリル系粘着剤。

【請求項5】

(メタ)アクリル共重合体と架橋剤とを含む架橋性組成物の架橋を進行させた(メタ)アクリル材料を含み、

軟化点が150℃以上である粘着付与樹脂を含み、

前記(メタ)アクリル共重合体は、(メタ)アクリル酸エステルモノマー、(メタ)アクリル酸モノマー及び水酸基含有モノマーを含有する混合モノマーの共重合体であり、

前記混合モノマーにおいて、前記(メタ)アクリル酸エステルモノマー及び(メタ)アクリル酸モノマーの総量100重量部に対する前記水酸基含有モノマーの含有量が、0.1重量部以上、0.3重量部以下であり、

ゲル分率が、53重量%以上である、(メタ)アクリル系粘着剤。